

# アダプタのタイムラグについて

アダプタ 仕様の LED照明器具において、  
通電してから、LED照明が点灯するまで、数秒の タイムラグが発生します。

これは、アダプタ内部のコンデンサによるものです。



コンデンサには電気を蓄える仕組みはなく、  
通電後、流れた電流は、まずコンデンサに流れ込みます。

一定量の電流が、コンデンサに蓄えられた後、  
LED基板に電流が流れるため、通電から点灯までのタイムラグが発生します。

コンデンサは、上記の仕組みにより、電流の流れを抑制し、  
LED照明器具の基板などに、電流が勢いよく、流れないようにします。  
これは、基板などに電流が勢いよく流れ込むと、基板の寿命を縮めてしまうからです。

タイムラグの秒数は、アダプタの容量（アンペア数）や、コンデンサの容量、  
アダプタの品質、また、外気温などの外的要因などでも、若干、変わります。  
しかし、アダプタの性質上、スイッチをONにした際のタイムラグは発生します。